

URL: https://dousoukai.site/zezekoukou/ E-mail: zeze-h-dousoukai@poem.ocn.ne.jp
編集・発行/ 滋賀県立膳所高等学校同窓会 大津市膳所 2-11-1 TEL077-524-4295 FAX077-524-1732
発行日/ 令和5年4月15日

(同窓会HP)



巻頭エッセー	1・2
新入会員	1
令和5年度総会のお知らせ	1
「給品(購買)」物語-前編	2
校歌の変遷について(番外編)	2
班活動の今昔	3
周年同窓会・記念同窓会	4・5・6
周年・記念同窓会予告	6
同窓会事業のご案内	6
会員名簿発行について	6
会務・会計報告・総会提出議案	7
会費納入について	7
膳所高NEWS・サクサク!	8
班活動報告・石鹿文庫	8
新型コロナとの三年間・編集後記	8

巻頭エッセー

大崎同窓会会長、富江校長対談

2020年(令和2年)当初からのコロナ禍で諸々の取組みや活動に制限がかかり、三年が過ぎました。この三年余りの学校の様子を振り返り、ウイズ・コロナ、アフター・コロナを見据えたこれからの膳所高校、同窓会の進むべき道について、また双方の連携について、大崎同窓会会長、富江校長にそれぞれのお立場からお話しいただき、同窓生の皆さんに学校や同窓会の現状を少しでもお伝えできれば幸いです。

(対談は令和5年1月末)
以下「富」=富江校長 「大」=大崎同窓会会長

富：令和3年度から、「ウイズ・コロナ」という考え方のもと、授業は欠席者に対する配信を併用しながらも、教室での対面授業を安定して行えるようになった。校内での班活動、外部の各種大会も、感染防止に留意しながら少しずつ実施できるようになった。令和4年度はほぼ予定通り実施できた。ただし、修学旅行(台湾)やSSHの海外研修(イギリス)は断念したが、代替として国内(九州、つくば)で実施した。ただ始業式や終業式等、体育館に全校生徒が集まるというところはまだまだできないでいる。(入学式、卒業式は参加者を限定し



校長室にて 左:富江宏学校長 右:大崎悦男同窓会長

て実施)マスク着用、手指消毒(消毒液は各教室前の壁に常設)は現在も励行している。
大：同窓会でも総会は令和2年度が中止、令和3年度は講演会のウェブ配信のみだったが、令和4年度には総会と講演会共実施(懇親会は中止)でき、令和5年度は懇親会も含めて企画している。周年同窓会、会員交流会などの行事もなんとか実施でき、少しずつではあるが回復しているかなと感じている。
富：この3年間生徒たちも大変であった。この3月の卒業生は、令和2年3月

当初から始まった臨時休業の最中に県立高校入試を受け、入学式後はすぐに自宅待機。5月末までの2か月余り実際の教室での学校生活を全く知らないまま、ウェブ上で指示や課題を見て家庭学習で対応するという変則的な高校生活のスタートとなった。校内の大きな行事の一つ湖風祭は、生徒会執行部の献身的な努力、生徒一人ひとりの協力、形を変えながらもこの三年間一度も中止することなく実施できた。先生方のご苦労も大きかったと思うが、生徒たちの忍耐、工夫、実行力を称賛したい。

大：今の校舎の新築時等でもそうだったが膳所高校は本当に忍耐強く、様々な困難や逆境にもそれぞれに工夫しながら対応している。コロナ禍においても、乗り越えるには正解など存在しないが、先の湖風祭の例でもわかるように、本当によく考えて対応している。「解の無い問いへの答え」「今までにない発想で新しい価値を生み出す」というスーパーサイエンス(SSH)の発想にもつながるような対応を実生活の中で実践しているように思える。

富：120周年記念事業で整備していただいた各教室設備のスクリーン、プロジェクト、ネット回線等が活躍しており、大変ありがたく感じている。(120周年記念事業は、同窓会HP参照)
【2頁につづく】

新入会員



私たちにとって大きな財産

令和5年3月卒業 徳野 眞大

膳所高校入学前はこれからの新たな高校生活に期待で胸を膨らませていましたが、思い通りに行かないことが多くありました。その中でも私たちは、めげずに3年間高校生活を送ってきました。そして、その日々は私たちにとって、大きな財産を与えてくれました。

この3年間を通して、私は努力できる環境と頼れる仲間恵まれました。そのため、多くの経験を積むことができた3年間で大きく成長できた実感があります。膳所高校の自主性を重んじる校風やさまざまな活動に参加する機会が豊富であったことが成長できた大きな要因です。そして、仲間が存在が当たり前ではないということ、一人で勉強することが多くなった受験期に再認識しました。班活動の厳しい練習も学習の成績が伸び悩んで落ち込んでいる時も、仲間がいるから乗り越え、これまで進んでいくことができました。

膳所高校とともに高いレベルを目指して過ごしてきた仲間がいることは、決して当たり前ではなく、私たちにとっての大きな財産です。過ぎ去った時間を振り返るとその短さに痛感し、大きな財産を与えてくれた膳所高校で過ごした日々が愛おしく思い出されます。私達の学年は出会った頃からマスクを着用し、入学式ではそれぞれ異なる制服で入場したことを覚えています。1年生の4月5月は休校で学校に行けず、本格的な授業が始まったのは6月であったため、同級生との接し方に戸惑う中で、初期の学校生活を送っていました。3年間を通して授業から班活動、湖風祭、校外学習、修学旅行などあらゆる学校行事で制限を受け、寂しい思いをしつつもその思いを仲間と共有し、「できないこと」を見つめた上で「できること」を必死に模索してきました。確かに私たちは従来

の高校生活における「当たり前」を実施できなかった。湖風祭や修学旅行の縮小、班活動の停止などその報告を聞くたびに下を向くこともありました。しかし、そのような状況だからこそできることや最大限楽しめることを探してきました。少ない学校行事を全力で楽しもうと思う人が多かったのだ、気づけば、落ち込んで下を向く回数よりも楽しく笑顔になる回数の方が多くなっていました。このように困難な状況乗り越えてきた私たちにしか、得られなかったものがあると感じています。そして、その中でみんなと笑い合った日々は私たちにとっての大きな財産です。

最後に、このような素晴らしい生活を送れたのは、いつも寄り添ってくれた仲間、困った時に手を差し伸べてくださる先生方、膳所高校の活動を応援し支援してくださる地域の方々や同窓会員の先輩方、そして毎日私たちに全力で支えてくれた家族がいたからこそです。本当にありがとうございました。これからは膳所高校同窓会会員として後輩たちを支援し、さらなる膳所高校の発展と後輩の活躍を祈っています。

令和5年度 総会のお知らせ

会員皆様方の多数のご出席をお願いいたします。

令和5年度 定例総会

●日時 令和5年5月21日(日)午前10時
(午前9時30分受付開始)
●場所 びわ湖大津プリンス・ホテル
大津市におの浜4-1-7
電話 077(521)1111

総会次第

- 議事 一、令和4年度会務報告・部会報告
- 一、令和4年度会計報告・会計監査報告
- 一、令和5年度事業計画・予算審議
- 一、その他
- 講演 「伝える力」膳所高校で学んだこと
講師 野村 正育 氏
(膳所高28回 昭和55年卒業)

講師のプロフィール



経歴
昭和55年3月 膳所高校 卒業
昭和61年 NHK入局 「おはよう日本」「ニュース7」などアナウンサーとしておもに報道分野を担当
現在はラジオ第一の「マイあさ」キャスター
(平日朝6時40分〜8時28分)

要約

報道の最前線で30年以上にわたってニュースや情報番組を担当してきた。ニュースを伝えるには、正確な情報の把握力と迅速な反応、そして的確な言葉の知識が求められる。総合力とバランス感覚が伝え手の信頼感につながる。その基盤となる考え方や情報に対する姿勢、言葉についての感覚は、振り返ってみると高校での授業や生活で培われた部分の大きいと感じている。生放送の緊張感、時間とのたたかい、専門家とのやりとりのなかで膳所高校で学んだことが大いに役立っている。

懇親会

午後1時からの懇親会に出席していただける方には、当日、総会受付時に懇親会費8,000円をいただきます。出席を申し込まれ、急用等によりやむを得ず欠席される方は速やかに事務室に連絡をお願いします。無断及び当日連絡の欠席の場合は、会費を申し受けません。
なお、同封のハガキは、総会懇親会に出席の方、および住所等に変更のある方のみご返送下さい。

大：120周年記念事業は非常に大きなプロジェクトだったが、事業企画・寄付金調達等の面を含め、学校と同窓会が上手く連携ができたと感じている。同窓生の皆さんから、多くの寄付をはじめご協力を賜り感謝している。その時に整備した機器が、この困難な時期に役に立っていることを大変うれしく感じる。学校、生徒たちも、こういった背景を認識し、これらの機器を十二分に活用して、コロナ禍をあと少し踏ん張って欲しい。

富：現役生徒の頑張りや活躍も頼もしく感じているが、学校や生徒をバックアップしてくれる卒業生の存在も大きな力となっている。スーパー・サイエンス・ハイスクール導入（平成18年にSSH導入前後、大崎会長は膳所高校校長。富江校長は膳所高校教員教務高大連携担当）の基盤となった高大連携においても、京都大学に協力を依頼に行った時も、本校の卒業生である教授の方々から「母校の後輩たちのために何とかしたい」とおっしゃっていただき、母校を思う気持ちで強く感じた。当時の長尾総長が膳所高校のご出身であったことも膳所高と京大の連携を進める大きな力になったのではないかと感じている。同様に滋賀医大との連携も、本校ご出身の馬場学長をはじめ、膳所OB陣の多大な協力があった。

（SSH、高大連携については、膳所高校HP参照）
大：SSH申請時には当時の文部科学省の久保公人氏やPTA会長の山下記善氏の協力を得て、数学者の秋山仁氏のヒアリングを受けたことを懐かしく思い出す。約20年前に県下に先駆けての校舎の新築、通学区全区一区の導入、SSH導入等が行われ、母校はハードソフト面で巨大化し、今、安定時代を迎えている。しかし当時から世界や日本の情勢は経済をはじめ文明の転換点を迎え、今のコロナ禍のような先行不透明の時代に直面している。そのような状況において県内や近隣県各校も様々な特色を発信する中、膳所だけが安定し続けるなどということはあり得ない。こうした課題に真正面から向き合い、「遵義・力行」の伝統的精神を引き継ぎ、新たな伝統を創り上げ、膳所高の役割・魅力を発信してほしい。同窓会も可能な限り協力・応援したい。

ここ数年の生徒数減は同窓会としても入会者数が減ることになり、将来的にも会費納入への影響も予想される。財政面で学校を支援している同窓会としても、なにがしかの対応が必要となる。また長い目で見て、同窓生が漸減してゆくことは大変寂しい現象だ。

（注：以前は全学年普通科10クラス+理数科1クラス、計11クラス、440名規模。令和2年度普通科1クラス減、令和3年度普通科2クラス減。令和5年度より、全学年普通科8クラス、理数科1クラス、計9クラス、360名規模に。全校生徒数にすると240名減ったことになる。）

富：令和4年度末にも、野球班OBより野球班への練習器具の寄贈があったが、（学校HP、同窓会HPに掲載中）数多く

の卒業生から支えられ、応援されていると感じられることは非常に心強く嬉しいし、同時に身の引き締まる思いである。

大：同窓会も約10年前から世の中の動きに対応した改革（イノベーション）の必要性を示し、「会員間の交流」「母校の支援」という目的のために活動しているが、より工夫して継続していきたい。会費納入方法の改善や、よりよい学校支援方法を模索している。卒業生の皆様にも、会誌JUNGIDOやホームページといった媒体を通して現在の学校の様子を見ていただき、後輩たちへ物心両面にわたる更なるご支援をお願いしようと思う。

◆「給品（購買）」物語—前編

以前の膳所高校には勤続二十年、三十年という先生方が多数おられました。近年は人事異動のサイクルも短くなり、職員室には二十年間の膳所を知る先生も珍しくなりました。そんな中で四十年前膳所高校と時間を共にし、現在も勤務する方がお二人おられます。今回はそのお二人にお話をうかがいました。「給品部」（購買）の安永憲子さんです。

安永さんは、1981年（昭56）松山校長先生（二度目の学校長として着任の時）時代から膳所高校にお勤めで、今年で四十三年目となります。

「二つ二つの出来事がある頃のことか覚えていられない程長い間膳所にお世話になっていました。昭和の頃は、給品部は「管理課」という部署内に位置付けられており、売店の人というよりは学校の先生や職員の人のような感覚でした。岡野靖夫先生（美術、昭47〜平2勤務）や北川邦之先生（書道、昭和56〜平元勤務）が管理課を担当しておられ、いろいろとお世話いただきました。現在は、「西洋軒」という業者の委託を受けてパン等を販売しているという形になっています。

私が来た頃は給品部は三人で運営していましたが、平成に入ると二人に。十年ほど前からは、購買（近年は「購買」と呼んでいます）の物品の取扱業者が変わったのを機に、一人になりました。取り扱っているものも以前は種類が豊富でした。パンやジュースはもちろん、鉛筆、消しゴム、ノートなどの文具、小テスト用紙、美術のカンパスや書道の半紙、制服のボタンや校章、徽章、体育館シューズや膳所高校のペナントを売っていた頃もあったようです。お箸も置いていました。以前はほとんど全ての生徒さんがお弁当を持ってきていましたので、給品のパンは、おやつという意味合いが強かったのではないですか。万年筆やインクは、私が来てからは販売していませんでしたが棚には残っていたので、以前は売っていたのでしょうか。県立高校入試の日に、筆記用具を忘れる受験生がいるといけないということで、試験当日の朝一番に給品を開いて待機したこともありました。かなり前のことですが。

旧校舎（昭33）。現校舎へは平成18年3月に移転）の頃で、まだローソンなどのコンビニの無い時代には、始業前に給品で朝食を摂る生徒さんもいたので、朝早くから開いていた時期もありました。部屋も、普通教室くらいの広さの専用のスペースでしたので（現校舎では、管理棟3階、図書館前の生徒ホールの一部にショーケースを置いて販売）、生徒さんの談話室、ちよっとした隠れ家のような雰囲気でした。当時「ブ



1955 (S30) 木造校舎にて



1991 (H3) 旧校舎購買。右端、安永さん

ランク」があり、授業中の時間帯でも給品には生徒さんが居ることがありました。私たちと歓談したり、勉強をしていたり・・・共通一次試験（昭54年1月第一回目実施）が導入される頃までは膳所には教室にストロップの設備がありませんでしたが、給品には石油ストロップがありましたので、冬場には暖を取りに来る生徒さんもたくさんいました。ストロップの上のタライでコーヒー牛乳を温めて飲んでいたりもしました。カップブラーメンは置いていませんでしたが、お湯は提供してましたので、生徒さんは自分で持ってきたものを食べていました。

現在は9時頃に来て準備、お昼休みに販売して、5時間目の時間帯には後始末をして帰るという形になっています。取り扱いはパンと飲み物類だけになっています。（以上、安永さん談）

呼称については以前は「給品（部）」と呼ぶことが多かったのですが、年によつては「購買」と呼んでいる卒業生もいます。少なくとも最近二十数年程度は「購買」と呼ばれ、「給品」という言葉を耳にすることは無くなりました。百周年記

◆校歌の変遷について（番外編）

— 現膳所高校にとつての校歌
「全員で校歌を歌えなかった膳所高校」

渡井友莉香（令和5年3月卒業）

膳所高校としての三年間、こんなに素敵な人たちと同じ時を過ごせて、私はとても幸せでした。互いに助け、高めあつた仲間たち、暖かな雰囲気と和ませてくれたクラスメイト、いつも熱心で都度重なる質問にも丁寧に答えて下さる先生方、様々な場面で学校生活を支えてくださった事務員さんなど多くの方々の励ましに支えられながら、ここまで来ることが出来ました。校歌に『良友ここに盟ひては』という歌詞があります。入学式の日に初めて聴いた時はなんとも思わなかったこの歌詞ですが、今では耳にする度に友と笑い、語り、学び合った日々を想起させてくれる私の一番好きな部分です。



膳所高校の校舎と石碑

念誌掲載の資料には、1962年（昭37）の校舎図では「購買」、1986年（昭61）は「給品」と表記されています。また1998年（平10）の校舎図では、旧校舎二階廊下を渡った右側、体育館手前の部屋は「学習室」と表記されています。給品はどこへ行ったのでしょうか？

（このあたりの事情は、次号「給品部、受難の時期」へ続く）
*「ブランク」：最近の卒業生や生徒さんには耳慣れない言葉ですが、昭和の頃の膳所では、先生方の出張や様々な理由で、「〇時間目が空き時間、自習」になるという時間がありました。時間割変更黒板にも、「〇時間目」のところが枠で囲って「ブランク」と書かれていました。その時間には、HR教室を出て図書館で読書をしたり、給品へ行ったり、時には膳所神社や膳所公園で散歩をしたりということが可能で、次の授業が始まるまでに教室に戻っておれば良かったのです。近年は、必ず前日までに時間割変更をし、空き時間を作らない授業展開になっています。

*同窓会HPに給品部（購買）の写真を多数掲載しています。表紙のQRコードからご覧ください。



1960 (S35) 旧校舎へ移転直後



2023 (R5) 現在の購買の様子。お昼休み

「これからの人生ですつと力になってくれるのも、それが校歌だ。」

私たちの学年主任の先生は、昨年度の終わりにそう教えてくれました。確かに、快活なメモロディーにのせられた膳所高校の校歌は、口ずさむ度に全力で駆け抜けたこの三年間の思い出のよすがとなるでしょう。「校歌の歌詞、難しかったよな。」「遵義の桜って三番目の歌い出しだっけ？」「いや、二番ちゃうかった？」なんて旧友と語り合う日が来たら、くじけそうな時でも大きな力が湧いてくるに違いありません。

でも、私たちの三年間はコロナ禍の三年間。みんなで校歌を歌う機会はいずれありませんでした。中学校の制服姿で行われた入学式、二か月近くの休校を経てやっと始まった高校生活、校歌を歌える日が来ないまま、もう卒業を迎えてしましました。夏休みが明けたら、冬休みが来たら、来年になったら・・・と学年全体で校歌斉唱をする機会を心待ちにしていたら、それが叶う日はもうありません。とても残念です。だからこそ、私たちが響き渡らせられなかったこの空白の三年間で途絶えることなく、この素晴らしい校歌が、再び校舎に響き渡る日が来ることを願っています。そして「遵義力行」を掲げ、素晴らしい仲間と築き上げてきた膳所高校の功業をこれからもずっと受け継いでいってほしいです。

追記：令和5年3月1日、コロナの規制も緩和されつつある中で挙行された卒業式で、一度だけ全員で校歌を歌うことができました。

班活動の今昔

◆英語班

2年2組 片岡 詩

私たち英語班は現在、2年生8人、1年生3人の計11人で和気あいあいと活動しています。英語班では主に、英語ディベート、ALITとの英語でのコミュニケーション、スピーチ練習、レシテーションなどの活動を通して、楽しみながら実践的な英語の習得を目指しています。

レシテーションコンテストやスピーチコンテストにも出場しており、よい実績を残すことができました。練習の際にはALITの先生からも直接発音やジェスチャー、表現方法などを教わっています。

また、私たちが特に力を入れているのが、英語ディベートの活動です。ディベートには、その場で論題が発表され、15分程度の短い準備時間の後すぐにディベートを開始する即興型のもので、事前に論題が与えられ、討論前にデータ集め、想定される問答などを考え準備する準備型のものがあります。どちらも肯定側、否定側に分かれ、どちらの論がより説得力があるかを競います。日々の活動では、県大会、関西大会、そして全国大会に向けて、論を支える資料を集め、自分たちの論が論理的かつ審査員に納得してもらえるものになるようにチーム内で意見を出し合います。

また、自分たちの意見を相手や審査員にわかりやすく伝えられるように、英語でのスピーチ練習を行っています。チーム内で意見を出し合っており、練習するので、チームの絆がとて強くなります。また、ディベートの講習会や試合に参加するため、県内外の他校生と交流する機会が多くなるのも魅力です。

そんな中で、およそ3年前から世界中で新型コロナウイルスが猛威を振るい、ほとんどの試合などがオンライン開催になりました。しかし現在では、対面で行えることも少しずつではありますが増えてきています。相手の顔を直接見ながら試合をすることができると、ディベートを通してたくさんの人と出会い、関わることを改めることに改めて感謝や喜びを感じています。

これからも、活動を通して得る経験や出会い一つ一つを大切にしながら、班員みんなで努力し、楽しみます！



ウェブによるディベート対戦準備

◆テニス班 (男子)

班長 2年2組 嘉田 奏平

私たち男子テニス班は現在、2年生28名、1年生7名の計35名が所属し、第2グラウンドのテニスコートで活動しています。

テニスはシングルス・ダブルスのように個人競技のイメージが強いですが、団体戦もあり、チームで戦うことが重要となります。春季総体での団体優勝、インターハイ出場という目標を達成するため、35人という大人数が1つのチームとして練習に励んでいます。

2022年度の活動成績は、春季総体と秋季総体においてともに準優勝となり、近畿大会に出場しました。また、近畿公立高等学校テニス大会では、団体第3位という結果を収めることができました。

当班は練習の自由度が高く、各コートで班員たちが自分たちの上達に必要なことを考えて練習メニューを決めています。自分たちで練習の目的、内容を定めることで、限られた時間の中でもより密度の高い練習をできるようにしています。また、校内戦や練習試合、公式戦をモチベーションとして、遅くまで残って練習する班員も多いためです。私たちがこのように練習できるのも、オムニコート2面、クレイコート4面に加えて夜間用のライトがあるという恵まれた設備のおかげです。

ほかにも、当班は、OBの方々や県内の大会、近畿大会を通じて縁のおかげで、県内県外問わず様々な高校と練習試合や練習会をすることができています。今年度には大学の方々とも練習試合を行いました。これらのことは、より高いレベルのテニスを体験できるだけでなく、テニスを通して学校の外部の方と関わりを持つ貴重な機会となっています。

このような恵まれた環境でテニスをできることに感謝を忘れず、これからもテニスを楽しみ、より良い成績を残せるよう励んでいきます。今後とも膳所高校テニス班の応援をよろしくお願いいたします。



◆ラグビー班よりお知らせ

ラグビー班監督 森 祥太郎 (平22卒)

同窓生の皆さま、こんにちは。いつも応援ありがとうございます。

令和五年新年より、ラグビー班OB倶楽部が主催の「Zアカデミー」を、原則として平日、月、水、金は15:00から、火、木は16:30から、休日は8:00から、第一グラウンドにて開催しております。こちらの企画は、本校を志望する中学生を対象とし、ラグビー班OBや現役生がラグビーの楽しさを伝えることと学習面のアドバイスをを行うことを目的としております。

参加に際して事前のご予約は必要ありません。同窓生の皆さまの身近に本校志望の中学生の方がいらっしゃいますら、是非ともおすすすめいただけると幸いです。

なお、練習の予定などは膳所高校ラグビー班ホームページ (<https://www.zrfc.com>) のタブにてご確認ください。お問い合わせ等は、膳所高校森祥太郎までお願いいたします。(077-523-2304 代表)

◆ラグビー班OBチーム マスターズ花園出場

ラグビー班OB 山下 昌宏 (平元卒)

ラグビー班OBチームがラグビーの聖地・花園ラグビー場(大阪府東大阪市)で2022年10月9日に初開催された「マスターズ花園」に出場、花園全国大会で歴代最多優勝・最多出場回数を誇る強豪・秋田工業と対戦し0対34で敗れたものの健闘。雨の中スタンドへ応援が集まった同窓生ら約200人の熱い声援に包まれ、コロナ禍で失われていた仲間との結びつきを聖地・花園で再確認した参加OBからはノースサイド後、満足した笑顔であふれた。

2019年ラグビー日本W杯熱狂の翌年から世界に広がったコロナ禍——《3密極致》のラグビー班も影響をものろに受ける形となり、現役チームは部員減が続く状況下、「コロナで奪われた青春を返して欲しい」とある部員がふと吐露した言葉も胸に響き、OB有志で協議。マスターズ花園出場に向け、ラグビー班伝統のZジャージにあった腕赤3本線「情熱・友情・希望&勇氣」をテーマに、①大会で怪我なくラグビーを楽しみシニア時代一番の体験としてOBの《勇氣》を現役チームに伝える②コロナを切り、世代を越えた繋がりを確かめ取り戻す《友情》の貴さを現役チームに伝える③現役チームや保護者・受験生を含む膳所高校ラグビー班(ZRFC)の未来に向け、部員増に繋げるべくOBの《情熱&希望》を伝える——ことを目標に掲げた。

要は、「ラグビーで培って得た《3密》は、オッサンになっても一生モノ



膳所 vs 秋田工 ラインアウトからの競り合い

の貴い繋がりになり、青春も取り戻せる」ことの現役チームへの証明とメッセージ、また傷ついた「Z」マークのイメージ回復も壮大に目指した。

出場エントリーした結果、花園全国大会出場歴がある枠から膳所(1987、1997、2002)と過去3回出場が近畿滋賀代表として選ばれ、ラグビー班1期生(1951卒)・91歳の現役ラグーマン貴田哲弘さんが出場宣言すると、「カラダが」と言い訳できなくなった73歳40歳のメンバー計54人が勇を鼓され、次々に出場を決めた。

7月から大会前日まで計9回、貴田さんを含むOB・OGのべ160人が母校グラウンドなどで現役チームとの合同練習などに参加。日頃の練習でスクラム練習や15対15の実戦練習が全くままならない現役チームの要望を3密で相手し、OBでもある森祥太郎監督の要請や相談にも可能な限り応じた。

一方で、合同練習や母校グラウンドなどでのOB練習の準備段階からマスターズ花園終了に至るまで、感染対策を留意徹底した上でコロナ感染も皆無で乗り切れ、コロナ禍で向かい風を受ける現役チームを勇気づけ鼓舞することができた。なお、学校側からコロナを理由にした外部制限は一切なく、OBのみの母校グラウンド練習も校長・教頭から「現役部員も励まされるはず」とのメールは多大な励みとなり、重大な負傷もなく乗り切れた。

貴田さん効果もありZRFCホームページで記載の通り、今回、テレビ2社、新聞・通信社4社の計6社の取材も入り多くのメディアで取り上げられ、現役チームのみならず、学校関係者、在校生、同窓生、現役部員保護者らから「コロナ禍で途絶えていたZの一体感を感じる事ができた」と反響も多大だった。

(<https://www.zrfc.com/ob/post1633>) OBチーム一同はラグビー憲章「品位・情熱・結束・規律・尊重」の精神で、リスペクトする秋田工OBチームに全集中で挑んだ。「自分の高校時代に全国大会優勝の常連だった憧れの秋田工と聖地・花園で試合ができてみたい。長年ラグビーを続けて良かった」とアフターマッチファンクションの場で感動を誘う貴田さんの挨拶もあり、リスペクトする秋田工OBから称賛も得ると共に貴重な交流も生まれ、かけがえのない財産・歴史となった。この機運を逃さず、OB一丸となり最終目標「現役チームや保護者・受験生を含むZRFCの未来に向け、部員増に繋げるべくOBの《情熱&希望》を伝える」を全うすべく、今回のメモリアルデジタルブックを作成しホームページ(<https://www.zrfc.com>)に掲げ、引き続き現役チームの応援・支援を継続していく方針だ。

マスターズ花園の試合動画は今秋開催の次回大会まで公開予定です。応援ご支援いただいた同窓生、膳所高校関係者の皆さま、ほんとうに有難うございました。

(<https://www.mbs.jp/rugby/masters/>)



試合後、雨の中スタンドに応援に駆けつけた多くの同窓生らと記念撮影

周年同窓会

65周年記念同窓会

(膳所高5回 昭和32年卒業)

令和4年4月4日の開催予定が、新型コロナウイルスが蔓延していたために延期としていた膳所高5回同窓会を10月10日に草津駅前ホテルポストンプラザで開催した。受付予定時間前から続々集まりあちこちで「やあ！久しぶり」の声や名札と顔を確認し「65年ぶり」等の挨拶と共に談笑する風景が見られた。早速に受付を行い、資料と共にコロナ対策としてフェースシールドを配布した。



定刻時間に集合写真を撮影後、校歌を斉唱し、小川隆・中村幸弘両君の司会により進行した。堀江充君の代表挨拶、河野伊一郎君の乾杯発声に引き続き、BSテレビ東京の「有名校」の番組に膳所高が放映されたので、DVDを母校より拝借し映像を観ながら会食し黙食に努めた。その後、テーブル毎に1〜2名のスピーチで近況や昔話等で賑やかさが増した。楽しい時間はあっという間に過ぎ予定終了時間が近付き、榎崎順章君の力強い中締めと「琵琶湖周航の歌」の合唱で名残惜しみながら盛会裡に閉会とした。(中村幸弘)

60周年記念同窓会

(膳所高8回、昭和35年卒)

琵琶湖に吹く風にも春の訪れを感じさせる令和5年3月11日に琵琶湖大津プリンスホテルにおいて、昭和35年8回卒業生82名が集い、更に来賓として膳所高校同窓会長、大崎悦男様のご臨席をいただき、卒業60周年の記念同窓会を盛大に開催いたしました。

実は私どもの60周年記念となる日は、3年前の令和2年3月でありましたが、折しも新型コロナウイルスの感染拡大の開始時期と重なり、残念ながら開催延期を何回となく繰り返す中で、やっと最近のコロナ対策の緩和が図られる等社会状況の変化、また80歳を越えた我々同級生は5回目のワクチンもその殆どが接種済みも勘案し今日の開催となったところであります。

記念同窓会では、まず最初にこの60年の間に物故者となられた恩師の先生方と同級生150名のご冥福を祈って黙祷を捧げました。そして世話人代表の挨拶に続き、来賓の大崎会長様より心のこもったご祝辞をいただき、無事「式典の部」を終了しました。続いて午後「饗宴の部」においては、まず本日の出席者の中で特に遠方より参加された同級生の乾杯の発声で開宴いたしました。60年ぶりの出会いを喜び、近況を語り合う時間は貴重なものであります。

ものであります。そんな中で、特に今回の大きなイベントとして準備した「石原裕次郎の記念グッズ」の抽選会も実施し、我々の青春時代を謳歌した石原裕次郎関連のサンガラスやキャップ、スポーツタオル等のグッズ約40点が当選者に提供されるなど出席者全員にとっても本当に楽しいひと時を過ごすことができました。60年ぶりに相集まった出席者にとっても楽しい時間は「アツという間」に過ぎてゆく中で、いよいよお開きの時間となり、最後に懐かしい膳所高校校歌を全員で大合唱し、今後も元気で過ごし、またの再開を約しつつ閉会となりました。

最後に、同窓会本部よりお祝い金を頂き、いろいろとお世話になった事務局の皆さんに心から御礼申し上げます。(世話人代表 後藤功)

60周年記念同窓会(および傘寿記念同窓会)

(膳所高9回 昭和36年卒業)

晩秋の落葉、野を吹く木枯らしに人生の残照を感じる折、私たちは3年前の喜寿記念同窓会が未だ心に残るなか、令和4年11月18日、びわ湖大津プリンスホテルにて、卒業生99名が集い、同窓会長大崎悦男様のご臨席をいただき開催しました。



まず校歌静聴に続きすでに鬼籍に入られた恩師並びに同級生100余名のご冥福を祈り黙祷を捧げました。幹事代表松村文夫君の挨拶に続き、ご来賓の大崎悦男様から心温まるご祝辞並びに乾杯のご発声をいただき宴は始まりました。コロナ禍のなか、会話は小声でマスク着用、グラス乾杯、お酌回し飲みは控え、トイレ以外は動き回らない等々制約のある中ではあったが、いつも通り昔話や談笑は絶えずあつとゆう間に予定していた時間となり琵琶湖周航の歌を静聴し、最後に代表幹事として長きに亘りお世話頂いた松村文夫君に感謝の花束を贈り中締めとなった。続いて会場を移し全員参加のもと二次会へと進み、時間の経つのを忘れ延々5時間に及ぶ記念同窓会は多くの同級生の協力で楽しく、恙なく終えることが出来ましたこと心より感謝します。また、お世話いただいたクラス幹事の方々有難うございました。

今回は、いろいろ制約のある中で同窓会でしたが、マスクなしで肩を組んで校歌でも歌えるようになったら、周年同窓会とは言わずささやかな春を実感できる同窓会を開催することを約してお開きとなりました。(若代修男)

55周年記念同窓会

(膳所高15回 昭和42年卒業)

令和4年11月9日(水)膳所高校卒業55周年を大津プリンスホテルで開催しました。当初9月27日に開催すべく実行委員会有志で準備を進めていきましたが、新型コロナウイルスの第7波の感染が拡大する中、前年の感染データ推移などを参考に、また

秋の行楽シーズン前の11月9日に延期しました。

同窓会当日は、前日の鮮やかな皆既月食明けの天候にも恵まれ12時20分の受付開始前に、懐かしい面々が続々と集まりました。今回は「出会いとおしゃべりが最高のごちそう!!!」をコンセプトに開催し、最終的に129名の仲間が参加しました。



12時50分会場に入場。13時司会の平野秀治さんの開会宣言と挨拶、新たな物故者9名の名前の読み上げと1分間の黙祷を捧げました。その後生徒会長だった池谷一義さんの開会あいさつと乾杯で宴が始まりました。

私共の同窓会は、20代後半のころからの有志のゴルフ仲間が「そろそろ卒業20年か?」と相談し、岩崎正康さんが呼びかけ卒業20周年の1987年に第1回を開催しました。その後5年ごとに開催を重ね、60歳の還暦の年にも「還暦記念修学旅行」と称して京都三条の旅館で開催して、今回が9回目になりました。

開宴から閉会まで音楽プロデューサー長戸大幸さん秘蔵の60〜70年代ヒットの和洋の約70曲をBGMとして静かに流し懐かしき時代のムードを高めました。また、過去の周年記念同窓会を中心に思い出の写真をスライドにして約30分間映しました。その後、NHK「チコちゃんに叱られる」でもお馴染みで「ブーメラン博士」としても知られる数学家西山豊さんの指導で、手作りのブーメランをステージで何人かが実演して会場は笑いに包まれました。

計約3時間の宴の後、クラスごとの写真撮影、川端敏男応援団長のエール、校歌斉唱、神野富雄幹事挨拶、その後集合写真を撮影してお開きとしました。

当日最後のメニュー、全員参加の二次会は約90人が16時30分からホテル38階のトップオブオオツで、自由にテーブルを囲み、あるいは移動しては会話に加わり、余韻を楽しみました。見下ろす暮れなずむ琵琶湖の景色と三上山方面からの十六夜の月も相まって、受付から6時間余り、心豊かな時間を過ごすことが出来ました。8時30分に名残を惜しみながら「またの再会を!!」と閉会しました。

同窓会開催に当たり、ご支援いただいた膳所高校同窓会事務局に厚く御礼申し上げます。(細江 卓朗)

50周年記念同窓会

(膳所高19回 昭和46年卒業)

令和4年7月2日(土)、びわ湖大津プリンスホテルに古希を迎えた男女70名が集い、2年遅れの卒業50周年(古希)記念同窓会を賑やかに開催することができました。本来であれば、東京オリンピック開催年(2020年)に実施予定のところ、新型コロナウイルスの蔓延により3度の延期を余儀なくされた中、感染予防に万全を期しての強硬開催でした。平常時の開催ならも多くの同級生の参加が見込めたところですが、70歳を迎える年に、丁度70人が集まり、ホテルに支払った費用がびっくり70万円と嘘のよう落ちがついたのも一興でした。

当日の出席者は、北は北海道、南は九州・福岡まで全国津々浦々から参集し、また、同窓会本部からは大崎同窓会長のご臨席を仰ぎ、WITHiコロナ時代の実験場の様相を呈しましたが、テーブルのあちこちから「思い出話」や「健康談義」等マスク越しの楽しい会話が聞こえ、開催出来た喜びを感じる瞬間でした。二次会は少人数での開催を予定していましたが、募つてみれば6割を超える参加希望者があり嬉しい誤算でしたが、会場に予定していた高校後輩のお店にはご迷惑をおかけすることになりました。



今後の同窓会行事について、当日の参加者にアンケートをお願いしたところ、3年後の55周年は当然開催するとして、「毎年開催」や「関東地区での地域開催」、「ゴルフコンペの定期開催」等数多くの意見が寄せられました。これらのご意見を参考に、同窓生が楽しめる集いを企画していきたいと思っております。参加いただいた皆さん、ありがとうございました。そして、今回参加できなかった同窓の皆さん、次回は是非参加をお待ちしております。(幹事)

50周年記念同窓会

(膳所高21回 昭和48年卒業)

2023年、令和5年1月3日 大安吉日、大津市の琵琶湖ホテルにて、卒業50周年記念同窓会を盛大に開催致しました。

残念ながら鬼籍に入られた恩師や同級生の方々、連絡先不明の方を除き、約400名にご案内を差し上げたところ、約半数の200名余りの皆様から返信を賜り、そのうち、また約半数の102名の皆様から、ご出席と返信を頂きました。

返信FAXのコメントを見ますと、「ぜひ参加したかったけれども、親の介護の真っ最中です」とか、「コロナ禍で会えなかった孫たちが、久しぶりに揃って帰ってくるので…」など、まさに本年、数えて70歳、古稀を迎える同級生の人生の悲喜こももも垣間見ることができました。

我々の親、祖父母がそうしてきてくれたように、私達も親を介護し、看取り、また、子供たちが家庭を持ち、孫が生まれて成長していく…。時の流れのありがたみも感じております。

親や恩師の先生方、また先輩や同窓生から受けた恩は計り知れないものがあります。これらの人生のエピソードは、次の世代、また次の世代へと「恩送り」をしながら、今、お陰様で、こうして元気に50周年同窓会にも出席できたことに感謝し、残りの人生を同級生の皆さま



んと共に、この絆を大切に、歩いていきたいと思いを強く致しました。50周年記念同窓会をお世話頂いた、世話人の皆様に、心より感謝を申し上げます。コロナに負けずに、楽しい同窓会となりました。ありがとうございました。(山本勝義)

45周年記念同窓会

(膳所高23回 昭和50年卒業)

桜も満開開近の令和4年4月2日、琵琶湖ホテル「瑠璃の間」において、恩師お二人を含む総勢84名の参加者のもと、還暦同窓会以来、実に5年振りの同窓会はついに開催を迎えました。思わず「ついに」としたためたのは、この開催に対する万感の思いがあつたからです。



「45周年同窓会」は、本来2020年に開かれる予定だったにもかかわらず、2年の空白がありました。新型コロナウイルスによるパンデミックは3年目を迎え、その間、私たちの同窓会は2度の延期を強いられました。今回、幹事の中でも意見は様々で、決して安易な状況や気持ちで開催にこぎ着けた訳ではなかったのです。

こんな思いの中で、開会宣言が高らかに発せられたとき、胸に熱いものがこみ上げたのは、私たちだけではなかったと思います。いつもの宣言より、いっそう厳粛かつ厚重な瞬間であつたように感じられました。

それまでホテルに幾度となく足を運び、会場の設営やテーブルの配置、食事メニューなどの協議だけでなく、行政指導の内容などにも耳を傾け、コロナリスクに対する徹底した防止策を推し進めてきました。

これまで考えもしなかったリスク管理や安全・安心の確保、強いリーダーシップや幹事間のひたむきなコミュニケーションといったものが、とても大切だということも思い知らされた同窓会でした。

(姜(姜山)永根・木野(藤井)智子)

35周年記念同窓会

(膳所高34回 昭和61年卒業)

「5年ぶりの同窓会開催」

令和5年1月8日、びわこ大津プリンスホテルにて昭和61年卒業生の学年同窓会を5年ぶりに開催いたしました。コロナの影響もあり、先生方全員にお声かけができませんでしたが、約120名の卒業生に加え、担任の先生方5名にもご参加いただくことができました。当日は重田先生のご発声による酒樽の鏡開きで開宴。会場のあちこちで懐かしいメンバー同士での昔話に花が咲きました。ラスト



は恒例の凛々しい応援団の伴奏による校歌斉唱。卒業から何年もたち勉強したことは全て忘れても、校歌だけはしっかりと覚えておられることに毎回驚きます。5年後には400人の大合唱ができればいいなと思います。当日の会費の中から、2023年同窓会開催記念として母校にショーケースを寄付(予定)。現役後輩たちが班活動等で勝ち取ってきた賞状や優勝カップを目につきやすい生徒昇降口に設置していただきます。(幹事 今村拓也)

35周年記念同窓会

(膳所高35回 昭和62年卒業)

行動制限のない正月に恩師3人を含む52名が全国各地から参加。当代応援団長の指揮による校歌斉唱、エールに始まり、思い出話や近況報告を順に披露しました。「趣味を再開した」「大病を患った」「子の就職で悩んでいる」「仕事のご用命を」など50代半ばに相応しい話題で盛り上がり、マスク越し・アクリル板越しでも35年前に戻れた貴重な時間を過ごしました。

今回は還暦となる6年後に開催予定。定年・再就職、介護など立場や環境は変化しますが、元気に再会することを誓いました。(世古誠)



5周年(6周年)記念同窓会

(膳所高65回 平成29年卒業)

2016年度卒の同窓会を1月7日(土曜日)の12時よりびわ湖大津プリンスホテルで開催しました。綺麗に晴れた青空の下、卒業生203人に加えて、先生方9人の総勢212人での開催となりました。

みなさん、久しぶりに会う先生方・友人達との会話を楽しんでおられました。会はあつという間に終わってしまいました。笑顔を多くみられる素晴らしい会になったかと思えます。このような会を開催できたのも、先生方・



卒業生の皆様のご参加、同窓会委員の皆様のご協力に加え、プリンスホテルのスタッフの方々のお力添えのおかげであります。本当にありがとうございました。(幹事 柴悠人)

5周年記念同窓会

(膳所高66回 平成30年卒業)

この度、2023年1月3日に、ホテルグランヴィア京都様にて平成30年度膳所高校卒業生同窓会を開催いたしました。まずは、コロナ禍という感染対策を要する世情の中でこのような場を準備していただいたホテルグランヴィア京都の皆様、そして参加してくれた卒業生、先生方に感謝を申し上げます。

この会を開くにあたって最も強く実感したことは、膳所高校卒業生の母校および母校の友人への愛着というものが強いということです。卒業2年目、成人式と同日にも同窓会を開催しましたので、今回はそれからわずか3年ということでしたが、このような間隔で同窓会を開催している高校は友人と話していてもなかなか見つかりません。就職している卒業生、遠方で暮らす卒業生も含めてこれほどの規模で再び集まれたということに大変感動しました。

今回は5年後を予定しています。良い意味で高校時代と変わらぬフレッシュな心を持ちつつ、再び多くの卒業生および先生とお会いできることを幹事一同楽しみにしています。(米田航大)



記念同窓会

米寿記念同窓会

(東高二回 昭和29年卒業)

令和4年11月25日、びわ湖大津プリンスホテルコンベンションホール淡海にて、米寿を記念しての同窓会が催されました。出席者は、総勢30名でした。

東二会は、大津東高校の第二回の卒業という意味で、現在の膳所高校の前身です。入学時は、大津高校で、翌年に大津東高と大津西高に分離し、大津西高は、大津商業高に、大津東高は膳所高になりました。

卒業生は、500人を超えていましたが、同窓会への出席者は、歳を追って激減し、一昨年にいったん解散宣言を致しましたが、親しい仲間が集まるとういうことで、希望者のみに案内状を送ることで、継続しています。今年度は、是非実施しようということでしたが、ついに男子10名、女子20名で、女性が二倍の参加者でした。

記念写真の後、物故者への黙祷を捧げ、開会挨拶、乾杯、宴会へと進み、親しい方々との会話をのんびり楽しみ、互いに元気を頂ながら、時間のたつ短さを感じる中、尺八の生伴奏で、「琵琶湖周航の歌」を合唱し、家路に着きました。(原田)



傘寿記念同窓会

(膳所高7回、昭和34年卒業)

令和4年11月11日(金曜日)琵琶湖ホテル「瑠璃の間」にて、傘寿記念同窓会を開催いたしました。当日は昭和34年卒傘寿記念同窓会開催。晴天に恵れ、絶好の小春日和でした。コロナ感染拡大のため、三年越しの開催にも拘わらず、81名の参加者があり、感慨も一頻でした。

開会の言葉に始まり、傘寿記念大会に相応しい「老齢者の健康づくり」の講話があり、それぞれが、老いに向かう年齢となり、健康維持増進に役立ててほしいとのこと。知識だけでは、老化は防げませんので、日常生活に取り組み、実行する意志の大切さを学びました。

次に、「混濁の湖・・・」の校歌の碑の設置について、賛同のお願いがありました。校歌には、学校の歴史とともに、建学の精神や理想とする校風が詠み込まれています。「混濁の湖・・・」で始まるあの校歌にも、どれほど先生方と先輩方の想いが込められ歴史を刻んだ想いがあつたかを知りました。校歌の制定は、昭和30年。令和7年が制定70年を迎えます。「母校、膳所高校に感謝のしるしとして、併せて、ふりかえり」の原点として、校歌の碑の設置を目指す活動の口火を我々が切りたいとの熱弁があり、昭和34年卒業生一同から賛同の拍手をいただきました。

また、我々の今後の同窓会の在り方については、型を変えて、気楽に続行しようという決定されました。色々、盛りだくさんの内容で、傘寿記念大会にふさわしい充実した楽しい同窓会でした。(大田禮子)

新成人記念同窓会

(膳所高69回 令和3年卒業)

令和5年1月9日、びわ湖大津プリンスホテルにて令和3年度卒第69回成人式記念同窓会を開催しました。340人の卒業生が一堂に会し、盛大に成人を祝うことができました。

した。新型コロナウイルスによる規制もほとんどなく開催できたのは、非常にうれしかった。先生方にもお越しいただき、生徒との会話の時間を十分に設けられました。

密度の濃い3年間をともに楽しんだあの頃の思い出話はどこまでも忘れない。時間を忘れて談笑し、大いに盛り上がりました。新型コロナウイルスが蔓延した3年の春から、新型コロナウイルスにより、学年でまとまって行うイベントは声出しの制限や、マスクの強制があったために、こうして対面で、行動規制もなく再会できた喜びは非常に大きなものとなりました。

5周年記念同窓会も、先生方を含め多くの方に参加していただき、開催できることを願っております。出席してくださった先生方、69回生の皆さん、同窓会理事、プリンスホテルのスタッフの方々、ありがとうございました。



(近藤慶佳)

膳所高校野球部OB野球大会&懇親忘年会

令和4年12月30日(金)膳所高校野球部OB会主催による令和4年度の『OB野球大会&懇親忘年会』が実施されました。

OB野球大会では、膳所高校第2グラウンドで参加者76名による軟式野球1試合、硬式野球2試合の計3試合を行われました。夜は天津プリンスホテルにて参加者72名による懇親忘年会を開き、昨年のプロ野球ドラフト会議においてソフトバンク育成枠で指名された水口創太選手(平成30年卒)の激励セレモニーも実施しました。数多くのOB会員と楽しい時間を共有できた喜びはもちろんだこと、同世代の絆をより強いものにし、世代間の関係も深め合える価値のある有意義なイベントとなりました。

今後も膳所高校野球部OB会の最大行事の一つとして、一人でも多くの会員の方々に参加して頂き、より充実したものにしていければと考えています。



(実行委員長 村上元一)

●野球部OB水口創太選手プロ入り

福岡ソフトバンクホークス 水口 創太(平30卒)

平成30年(2018年)3月に卒業し、早くも5年が過ぎようとしています。昨年のプロ野球ドラフト会議で、福岡ソフトバンクホークスから育成指名を受け入団を決定しました。お世話になりました母校にご挨拶をさせていただきます。いざいざと思いきや、昨年12月に久しぶりに訪問し、校長先生をはじめ在校生の皆さんと交流を持つ機会に恵まれました。現役野球部のメンバーや放送部の皆さんとの交流会では、質疑方式で自分の経験や思いを話し伝えることが出来、御礼訪問にもかかわらず、こちらが皆さんから沢山のエネルギーをいただくことになり貴重な機会を頂戴し感謝しております。また野球部で日々汗をかけた第2グラウンドにも行くことができ、懐かしさとともに厳しくも楽しかった野球部での高校生活が、今の自分のベースになっていることを改めて感じる事が出来ました。

高校時代は、まだ体の線が細く故障との闘いが続いていたので、十二分に野球をやりきったとは言えず、次のステージで頑張りたいとの思いで卒業を迎えました。同時に創立120周年のメモリアル年に後輩達が選抜に出場出来たことは、本当に嬉しくあの輝きを見たことは、その後の自身の成長の糧になりました。一浪後、京都大学入学し、迷うことなく硬式野球部の門をたたきました。高校時代の経験を活かし、体作りには特に注力し関西学生野球連盟で強豪校と対等に戦う準備に明け暮れました。大学3年の秋リーグで主力として使っていただけ、粗削りは否めませんが戦力になることが出来ました。小学校2年からはじめた野球を職業にする夢に挑戦したいとの思いが強くなったのもこの時期です。

昨年の10月20日に育成枠ではあります、ドラフトで名前が呼ばれたことは自身の人生において一つの節目であり、その日感じた思いを大切にしていきたいと思えます。今年の1月6日から福岡の筑後で新生活をスタートさせました。今まで沢山の皆さんにご指導を頂戴し、お世話になりこの日を迎えられたと思っております。膳所高校、膳所高校野球部出身者であることを感謝し、皆さんに応援していただけるように成長していきたいと思えます。

最後に、パリーグは、福岡ソフトバンクホークスを是非、応援してください。宜しくお願い致します。



ソフトバンク入団会見(一番右、水口選手)



京都大学野球部時代の水口選手

周年記念同窓会 予告

■65周年記念同窓会 「膳十六会」

日時 令和5年(2023) 10月11日(水)
場所 琵琶湖ホテル
会費 10,000円

■55周年記念同窓会

日時 令和5年(2023年) 秋頃開催予定で準備中
連絡先 実行委員会代表 川崎博史(TEL090・820006016)

■50周年記念同窓会

日時 令和6年(2024年) 8月11日(日)
場所 琵琶湖ホテル
連絡先 神山 等(TEL077・582・8270)

■45周年記念同窓会

日時 令和6年(2024) 8月10日(土) 夕刻
(令和5年(2023) 8月開催予定を延期)
場所 琵琶湖ホテル
連絡先 秋山(居嶋) 洋子(TEL077・526・3648)

■45周年記念同窓会

日時 令和6年(2024) 5月連休中、または1月で調整中
連絡先 大田伊久雄
Mail: ikuota@agr.u-yuky.ac.jp

■35周年記念同窓会

日時 令和5年(2023) 11月25日(土)
場所 琵琶湖ホテル
会費 12,000円
連絡先 村木康弘(TEL090・7879・4123)

■30周年記念同窓会

日時 令和6年(2024) 1月3日(水) 13時
場所 琵琶湖ホテル
連絡先 藤本健太(TEL070・5434・3356)

■15周年記念同窓会

日時 令和6(2024) 年1月2日(火) 13時
場所 ホテルグランヴィア京都
連絡先 福井恒誠(TEL077・524・4295 同窓会事務局)

■15周年記念同窓会

日時 令和5年(2023) 12月30日(土) 12時~14時
場所 ホテルグランヴィア京都
会費 10,000円前後

連絡先 波田野希美(TEL090・5058・4315)
日時 令和5年(2023) 11月開催で調整中
連絡先 篠崎 陽(TEL090・9122・0865)

■10周年記念同窓会

日時 令和6年(2024) 1月3日(水) 13時
場所 びわ湖大津プリンスホテル
会費 8,000円
連絡先 今村大智
Mail: d1namurac@gmail.com

■5周年記念同窓会

日時 令和6年(2024) 1月6日(土) 13時~15時
場所 びわ湖大津プリンスホテル
会費 未定
連絡先 中田継太(TEL090・2107・7165)

■二十歳の記念同窓会

日時 令和6年(2024) 1月8日(月)
場所 びわ湖大津プリンスホテル
会費 10,000円
連絡先 松本啓汰(TEL090・1222・3770)

同窓会事業のご案内

①第28回膳所高校同窓会ゴルフコンペ

日時 令和5年9月18日(月・祝)
場所 メイプルヒルズゴルフ倶楽部 甲賀市信楽町田代65
スタート時間 8時00分アウト・イン同時スタート
競技方法 ダブルペリア方式による18ホールストロークプレー
プレー費 キヤデイ付 14,500円
セルフ 11,000円
会費 2,500円
定員 40組

②第9回同窓会交流会「徳川家康ゆかりの地を巡る旅」

日時 令和5年10月28日(土) 日帰りバスツアー
方面 岡崎方面(大樹寺、岡崎城、まるや八丁味噌見学)
参加費 5,000円
定員 35名
※①②共、同窓会の年会費納入者に限定させていただきます。
参加当日の納入も受け付けております。
※①②共、お申し込みは同窓会事務局までお願いいたします。
定員になり次第締め切ります。(077・524・4295)

令和5年版会員名簿発行のお知らせ 令和5年5月発行予定

広告掲載にご協力いただいた方々に御礼申し上げます。今から購入ご希望の方は、多少の残部がありますので同窓会事務局までご相談下さい。
(TEL077・524・4295) 月~金13時~17時

令和4年度同窓会会務・会計報告・令和5年度同窓会総会提出議案

◆令和4年度 同窓会会務報告

2022年(令和4年)

4月 20日	JUNGIDO第39号発行(27,206部発送)
23日	令和3年度同窓会会計監査(同窓会事務局)
5月 2日	第1回役員会(セミナーハウス遠桜館 研修室)
15日	令和4年度同窓会総会(びわ湖大津プリンスホテル)70名参加
6月	
7月 16日	第2回役員会(セミナーハウス遠桜館 研修室)
8月	
9月 19日	第27回ゴルフコンペ(メイプルヒルズゴルフ倶楽部)台風接近により中止
10月	
11月 5日	第3回役員会(セミナーハウス遠桜館 研修室)
7日	会費納入再度のお願い
27日	第8回会員交流会「長浜の歴史探訪」16名参加
12月	

2023年(令和5年)

1月 28日	第4回役員会(セミナーハウス遠桜館 研修室)
2月 28日	同窓会入会式
3月 1日	第71回膳所高等学校卒業式(令和4年度)
18日	令和4年度同窓会理事会(大会議室)
	JUNGIDO第40号校了(作業終了)

令和4年度開催 周年・クラブOB会

＜周年同窓会＞				
令和4年	4月	2日	45周年記念同窓会(昭和50年卒)	琵琶湖ホテル 84名参加
	7月	2日	50周年記念同窓会(昭和46年卒)	びわ湖大津プリンスホテル 70名参加
	10月	10日	65周年記念同窓会(昭和32年卒)	ホテルホストンプラザ草津びわ湖 52名参加
	11月	9日	55周年記念同窓会(昭和42年卒)	びわ湖大津プリンスホテル 129名参加
		18日	60周年記念同窓会(昭和36年卒)	びわ湖大津プリンスホテル 99名参加
令和5年	1月	3日	50周年記念同窓会(昭和48年卒)	琵琶湖ホテル 102名参加
		〃	35周年記念同窓会(昭和62年卒)	クサツエストピアホテル 52名参加
		〃	5周年記念同窓会(平成30年卒)	ホテルグランヴィア京都 240名参加
		7日	6周年記念同窓会(平成29年卒)	びわ湖大津プリンスホテル 212名参加
		8日	35周年記念同窓会(昭和61年卒)	びわ湖大津プリンスホテル 125名参加
		9日	新成人記念同窓会(令和3年卒)	びわ湖大津プリンスホテル 340名参加
		11日	60周年記念同窓会(昭和35年卒)	びわ湖大津プリンスホテル 82名参加
＜クラブOB会＞				
令和4年	12月	30日	膳所高校野球班OB野球大会・懇親会	膳所高校第2グラウンド・びわ湖大津プリンスホテル 76名参加

◆令和4年度 同窓会会計中間報告(令和4年4月1日～令和5年2月28日)

一般会計 《収入の部》

項目	予算額	決算額	差額	備考
前年度繰越金	3,767,611	3,767,611	0	
令和4年度分前受会費	4,884,000	4,884,000	0	会費会計より振替
令和4年度会費	4,000,000	4,176,000	176,000	会費会計より振替
同窓会入会金	1,197,000	1,161,000	△36,000	新規同窓会入会金387名
雑収入	30,000	30,188	188	受取利息、タフジャーナル代、寄付等
合計	13,878,611	14,018,799	140,188	

《支出の部》

項目	予算額	決算額	差額	備考
総会費	700,000	550,913	△149,087	総会
会議費	150,000	18,249	△131,751	役員会、理事会
交際費	30,000	12,523	△17,477	
通信費	880,000	812,939	△67,061	会費納入関係印刷、印刷代等
旅費交通費	50,000	27,120	△22,880	役員会等
支払手数料	500,000	396,060	△103,940	会費納入手数料、振込手数料
雑給与	1,400,000	1,187,740	△212,260	
コンピューター関係費	40,000	16,500	△23,500	ソフトメンテナンス料
ホームページ運用費	64,800	64,800	0	サーバー運用費
事務用品費	55,000	49,206	△5,794	コピー用紙他
備品・消耗品費	120,000	153,648	33,648	複合機リース料等
広報発行費	1,200,000	1,097,186	△102,814	「JUNGIDO」39号発行
広報発送費	2,300,000	2,160,215	△139,785	広報封入封緘、広報送付料
学校助成金	1,000,000	1,000,000	0	特別講座・グローバル研修助成等
班活動奨励金	1,100,000	1,100,000	0	文化班・体育班活動支援
慶弔費	50,000	0	△50,000	
周年同窓会祝い金	600,000	340,000	△260,000	周年同窓会10件
各部会費	700,000	278,899	△421,101	
└ 広報部会費		0		
└ 事業部会費		117,447		ゴルフ案内、会員交流会
└ 総務部会費		161,452		会費納入再依頼
特別会計に振替		0		
予備費	2,938,811	0	△2,938,811	
合計	13,878,611	9,265,998	△4,612,613	

差引現在残高 4,752,801 (14,018,799-9,265,998)

会費会計 《収入の部》

項目	金額	備考
前受会費繰越金	13,793,000	R3年迄の前受金
令和4年度会費	4,176,000	当年度分
前受会費	5,498,000	R5年以降分の会費
合計	23,467,000	

《支出の部》一般会計へ振替

項目	金額	備考
令和4年度会費	4,176,000	当年度分の会費
令和4年度分前受会費	4,884,000	R3年迄の前受金から
合計	9,060,000	

差引現在残高 14,407,000 (23,467,000-9,060,000)

一般会計及び会費会計現在残高 19,159,801 (4,752,801 + 14,407,000)

◆同窓会財産目録(R5.2.28現在)

I 一般会計及び会費会計 合計

◇郵便局	◇滋賀銀行		
郵便貯金 1口 7,087,853円	本店営業部 普通預金	534,616円	
郵便振替 1口 3,565,324円	膳所支店 普通預金	7,838,705円	
◇手許現金 133,303円			
	計	19,159,801円	

II 特別会計

◇滋賀銀行 膳所支店 普通預金	9,803,195円	計	9,803,195円
-----------------	------------	---	------------

III 名簿会計

◇滋賀銀行 膳所支店 普通預金	48,012円	計	48,012円
-----------------	---------	---	---------

特別会計 《収入の部》

項目	金額	備考
前年度繰越金	11,149,229	
寄付	1,154,330	卒業生より
利息	76	
合計	12,303,635	

《支出の部》

項目	金額	備考
学生支援特別事業	2,500,000	
残高証明手数料	440	
合計	2,500,440	

差引現在残高 9,803,195

名簿会計 《収入の部》

項目	金額	備考
前年度繰越金	48,452	
名簿売上金	-	
合計	48,452	

《支出の部》

項目	金額	備考
残高証明手数料	440	
合計	440	

差引現在残高 48,012

◆令和5年度 予算(案)

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

一般会計 《収入の部》

項目	R5年度予算案	R4年度予算	備考
前年度繰越金	4,552,801	3,684,116	
前受会費	5,513,000	4,880,000	会費会計より振替
当年度会費	4,000,000	4,000,000	会費会計より振替
同窓会入会金	1,080,000	1,197,000	新規同窓会入会金 3,000円/人
名簿会計・特別会計より繰入れ	0	0	
雑収入	30,000	30,000	受取利息、タフジャーナル代、寄付等
合計	15,175,801	13,791,116	

《支出の部》

項目	R5年度予算案	R4年度予算	備考
総会費	800,000	700,000	年度別(毎年5月第3日曜日)
会議費	150,000	150,000	理事会、役員会
交際費	30,000	30,000	
通信費	900,000	880,000	印刷関係印刷費、印刷代等
旅費交通費	50,000	50,000	役員会等
支払手数料	500,000	500,000	会費納入手数料、振込手数料
雑給与	1,400,000	1,400,000	事務局職員費・交通費
コンピューター関係費	40,000	40,000	ソフトメンテナンス料
ホームページ運用費	64,800	64,800	サーバー運用費
事務用品費	55,000	55,000	封筒、コピー用紙他
備品・消耗品費	150,000	120,000	複合機リース料等
広報発行費	1,200,000	1,200,000	「JUNGIDO」40号発行
広報発送費	2,300,000	2,300,000	広報封入封緘、広報送付料
学校助成金	1,000,000	1,000,000	特別講座・グローバル研修助成
班活動奨励金	1,100,000	1,100,000	文化班・体育班活動支援
慶弔費	50,000	50,000	
周年同窓会祝い金	600,000	600,000	膳所高校第2グラウンド 令和5年度3000円
各部会費	700,000	700,000	広報部、事業部、総務部会費
予備費	4,086,001	2,851,316	
合計	15,175,801	13,791,116	

令和5年度 事業計画(案)

同窓会員相互の交流・親睦と教養の向上を図るとともに、母校に対する支援・協力の諸事業を行います。

同窓会では、同窓会の安定的運営の根幹となる会費の納入率の向上に努め、高齢化の進む中で、より多くの情報発信のための広報紙の充実、周年同窓会への支援強化、母校への支援の継続強化を行い、同窓会活動を充実してまいります。

また、会員のコロナ禍における感染防止、安全に十分配慮した対応を検討します。

- 総務部会 定例総会・理事会の開催や役員会等を必要に応じ開催します。母校との連携・協議を積極的にするとともに、各部会への協力、調整を行います。
- 事業部会 総会時の講演会の開催、各学年の周年同窓会への協力、ゴルフ大会・研修会等の交流会の開催を通じて、同窓会活動の活性化に努めます。また、学校の後援会活動、文化班・体育班活動の奨励に努めます。
- 広報部会 母校の情報発信や同窓生相互の交流を図るため、年度当初に同窓会広報紙「JUNGIDO」を発行します。会員と母校とを繋ぐ充実した紙面づくりおよび同窓会ホームページを通して、広報活動の充実に努めます。
- 財務部会 健全な同窓会会計の確立のため、同窓会会費の納入促進に努めます。
- 事務局 会員との情報交換、周年同窓会への支援・援助、年会費の徴収、年会費未納者への納入依頼、地域・職域の組織づくり、体育・文化班OB会の支援、同窓会ホームページのコンテンツ管理等を行います。

コンビニで簡単納入! スマホ決済もスタート!

年会費納入のお願い

令和5年度会費を同封の振替用紙にてコンビニまたは郵便局でご納入いただきますようお願いいたします。振替用紙が入っていない方は、会費を前納されています。

会費は年額2,000円となっておりますが、5年分(10,000円)まとめてご納入いただければ幸いです。



コンビニでの振り込み、および郵便局でゆうちょ口座の通帳またはカードで納入の場合は、皆様に手数料はかかりません。(それ以外の納入方法の場合、皆様に手数料がかかる場合がありますのでご注意ください)

ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

ホームページアドレス
<https://dousokai.site/zezekoukou/>

メールアドレス
zeze-h-dousokai@poem.ocn.ne.jp

